



将来指標

夢ある将来の構想

自然環境の変化・社会環境の変化の中で、町民意識は健康で生きがいのある住み良い生活と社会環境を求め、経済的豊かさとともに精神的豊かさをも求めています。

南部町は、鳥取県西部地域の中心的役割を担うとともに、中山間地域の持続的発展の模範となるべきまちづくりと、豊かな自然や交通の要衝となる環境を活かし、今後はますます多様化・高度化する住民の行政需要に的確に応じて、安心して確かな未来に向けて夢のあるまちづくりを進めます。

そして、しあわせやこころの豊かさを実感できる町、次世代に継承すべき誇れる町を目指します。

平成16年10月1日合併時における南部町内在住人口は12,323人でした。

しかし、平成15年を基にコーホート要因法により算定した人口推移では、約20年後の平成38年の人口は11,430人に減少すると推計されます。

少子高齢化の中で、国際化や情報化さらには地方分権など大きな変革の時代を迎える社会情勢があり、21世紀にふさわしい基盤のしっかりした自治体が求められています。

町民の主体的な参画による創造と活力のあるまちづくりと、子育て支援・若者定住促進等の人口対策を基軸として取り組み、人権・教育等の啓発と実践、伝統文化の継承、保健・医療・福祉の充実、そして、産業振興と生活環境整備等の住民要望と財政の健全化との均衡を図りながら総合的に進めます。

1. 住民が主体となって創造する、活力あるまちづくりのため、全集落の参画による地域自治組織の編成を目指します。
2. 伝統・文化の継承と、差別のない豊かな心と思いやりのあるまちづくりのため、あらゆる差別をなくす人権学習、男女共同参画の啓発・活動を進めます。
3. 快適な住環境の整備と地域の交流とゆとりあるまちづくりのため、集落環境整備を進めて上下水道普及率の100%達成を目指します。
4. しあわせで住み続けられるまちづくりのため、定住対策・子育て支援対策を強化して若者の定住を進めます。
5. にぎわいと潤いのあるまちづくりのため、産業振興を図り農林業の担い手確保を進め、商工観光振興により町内施設への集客力向上を目指します。
6. 自然との調和と環境に配慮したふるさとの風景を継承するまちづくりのため、国際環境規格ISO14001の普及拡大への取り組みと、森林・農地の計画的利用により、現在ある面積を維持・保全することを目指します。